

学部・学科・専修・専攻	科目名 ※は定員、受講条件を表します。	講義内容（※2025年度のシラバス抜粋）	学期	曜日・時限
法学部 法学政治学科	現代政治論1 ※受講条件：教科書を購入し、事前に指定箇所に通すこと	政治学的な知識と分析視角を一旦修得すれば、政治に関する知識やイメージが一面的で確かな根拠に基づかない性質のものであることが理解できるようになります。現代政治のリアリティを複眼的・体系的にとらえていく上で、政治学の学習は大変有意義です。政治学系の入門科目ですが、政治学の有用性や面白さを伝えることができれば幸いです。	春	火曜日・5限
法学部 法学政治学科	現代政治論2	政治学的な知識と分析視角を一旦修得すれば、政治に関する知識やイメージが一面的で確かな根拠に基づかない性質のものであることが理解できるようになります。現代政治のリアリティを複眼的・体系的にとらえていく上で、政治学の学習は大変有意義です。政治学系の入門科目ですが、政治学の有用性や面白さを伝えることができれば幸いです。政治を規定する思想や歴史という枠組みや、国際社会という環境に焦点を当て、解説を行っていきます。	秋	火曜日・5限
法学部 法学政治学科	アメリカの政治	What is the principle and the system of the United States, which greatly influences the global situation? This lecture focuses on the domestic politics of the United States and aims to deepen our knowledge about the political system, policy implementation, as well as the political challenges. Through case studies involving the confrontation over the fundamental values, the lecture provides some clues to understanding the US society. ※英語での授業となります。	秋	水曜日・5限
文学部 総合人文学科 英米文学英語学専修	知へのパスポート a（英米文学英語学） ※受講条件：継続的に出席し、積極的に授業に参加すること	3人の教員によるリレー授業で、アメリカ文学、日英比較文学、イギリス文学の3領域についてそれぞれ5回ずつ実施することにより各専門領域への導入とします。	春	月曜日・5限
文学部 総合人文学科 英米文化専修	知へのパスポート a（英米文化）	In this course, students will explore contemporary American society through scenes from American movies such as John Q, Forrest Gump, and Philadelphia. While developing their skills in English through in-class discussion, teamwork, and short writing assignments, students will learn how to tackle such cultural issues as ethnicity, gender roles, and corporate culture.	春	木曜日・5限
文学部 総合人文学科 英米文化専修	知へのパスポート b（英米文化）	『ハリー・ポッター』シリーズの分析とディスカッションを通じて、人種と動物についての考えがどのように交わり合っているかを学び、小説や映画を批評的に検討して論じる能力を身につけます。関西大学LMSを通じて講義の理解や自習した内容を記録し（学習ログ）、ディスカッションの後には報告し（リアクション・ペーパー）、最終的に『ハリー・ポッター』を分析したエッセイ/小論文を書いてもらいます。	秋	木曜日・5限
文学部 総合人文学科 国語国文学専修	学びの扉（国語国文学）	日本語や日本文学を題材として、日本人のこころや日本文化のありさまについて学びます。高等学校で学ぶ「現代国語」や「古文」とは違った、国語学（日本語学）研究と日本文学研究の「方法」と「たのしさ」を紹介していきます。	春	火曜日・5限
文学部 総合人文学科 国語国文学専修	学びの扉（国語国文学）	日本語や日本文学を題材として、日本人のこころや日本文化のありさまについて学びます。高等学校で学ぶ「現代国語」や「古文」とは違った、国語学（日本語学）研究と日本文学研究の「方法」と「たのしさ」を紹介していきます。	秋	火曜日・5限
文学部 総合人文学科 ヨーロッパ文化専修	学びの扉（ヨーロッパ文化）	フランスを中心としたロマンス語圏、およびドイツを中心としたゲルマン語圏に軸足を置きながら英語圏の文化も視野に入れてヨーロッパを見ていきます。横文字・アルファベットを操る人たちがどのような文化を築いてきたか、そして現代においてどのような問題を抱えているかをぜひここで探ってみてください。	春	火曜日・5限
文学部 総合人文学科 ヨーロッパ文化専修	学びの扉（ヨーロッパ文化）	フランスを中心としたロマンス語圏、およびドイツを中心としたゲルマン語圏に軸足を置きながら英語圏の文化も視野に入れてヨーロッパを見ていきます。横文字・アルファベットを操る人たちがどのような文化を築いてきたか、そして現代においてどのような問題を抱えているかをぜひここで探ってみてください。	秋	火曜日・5限
文学部 総合人文学科 日本史・文化遺産学専修	学びの扉（日本史・文化遺産学）	日本史・文化遺産学のエッセンスを知るための入門講義です。日本史学は、考古学が対象とする原始時代からはじまり、昭和・平成を含む近現代までいたる、ヒトとモノに関わるすべてのことを学びます。文化遺産学は、人類の活動によって生み出された有形・無形の文化的創造物を学ぶもので、とくに日本・沖縄・朝鮮などの文化遺産を中心に学習します。日本史・文化遺産学の概要と専修の紹介や、各専門分野から、ホットな話題を取り上げながら、最新の研究状況について講義します。	秋	火曜日・5限
文学部 総合人文学科 教育文化専修	学びの扉（教育文化）	教育文化専修では、乳児から高齢者まであらゆる人に対して、社会のあらゆる場所で行われている教育や人の成長をフィールドワークやデータ分析を行うことで、思想的な背景を探求したり多面的に理解することを追求します。多様な価値観が大切にされる現代社会で行われる教育やその背景にある文化や歴史について学習し、研究する醍醐味を、存分に味わっていただきます。	秋	金曜日・5限
文学部 総合人文学科 初等教育学専修	学びの扉（初等教育学） ※受講条件： ・テキスト1冊購入 ・スマートフォン、タブレットPCなどインターネットに接続できる機器を持参すること	初等教育学の基礎理論について、学校や地域で生起している具体的な事例と関連づけながら体系的に学習することを通して、学校教育の役割と教職の概要を理解します。	春	火曜日・5限
文学部 総合人文学科 心理学専修	学びの扉（心理学） ※受講定員：3名 ※受講条件：遅刻・欠席・早退・受講辞退をしないこと	心理学とはどのような学問なのか、心理学の研究はどのように行われているのか、そして、心理学を学ぶことにはどのような意義があるのかを理解するため、専修に所属する教員が専門としている研究の一端を概説していきます。	秋	金曜日・5限
文学部 総合人文学科 表象文化専修	学びの扉（表象文化）	表象文化専修の入門講義です。表象文化専修は何を学ぶところか、専修所属の各教員はどのような研究を行い、それがどのように授業に反映されているか、専修の先輩は学生時代どのような研究テーマを扱い、社会で活躍しているかなどについて、概説します。	春	火曜日・5限
文学部 総合人文学科 表象文化専修	学びの扉（表象文化）	表象文化専修の入門講義です。表象文化専修は何を学ぶところか、専修所属の各教員はどのような研究を行い、それがどのように授業に反映されているか、専修の先輩は学生時代どのような研究テーマを扱い、社会で活躍しているかなどについて、概説します。	秋	火曜日・5限

★日程（曜日・時限）・講義概要などが変更になる場合があります。
開講時間【第5時限】16：20～17：50

学部・学科・専修・専攻	科目名 ※は定員、受講条件を表します。	講義内容（※2025年度のシラバス抜粋）	学期	曜日・時限
文学部 総合人文学科 アジア文化専修	学びの扉（アジア文化）	アジアの思想と文化、歴史と習俗、宗教と文学などを幅広く学びます。特に、アジア文化と日本の関連について注意していきます。アジアの中でも中国・韓国（朝鮮）・日本の東アジアを重点的に扱い、さらに東南アジア・インド地域についても言及します。	春	火曜日・5限
文学部 総合人文学科 アジア文化専修	学びの扉（アジア文化）	アジアの思想と文化、歴史と習俗、宗教と文学などを幅広く学びます。特に、アジア文化と日本の関連について注意していきます。アジアの中でも中国・韓国（朝鮮）・日本の東アジアを重点的に扱い、さらに東南アジア・インド地域についても言及します。	秋	火曜日・5限
文学部 総合人文学科	総合人文基礎講義（人文学とは何か）	人文学を学ぶ意義を学ぶことを目的とします。まずは人文学が成立した歴史をたどり、人文学の諸領域（哲学・歴史学・宗教学・文学・芸術・教育学など）のそれぞれの特徴と、人文学としてそれらの諸領域を学ぶ意義について論じます。これから皆さんが文学部で学ぶ諸学問がどのような意義を有しているかを考察します。さらに受講生が人文学を学ぶ意義を主体的に身につけることができるようにディスカッションやグループワークを行います。	春	水曜日・5限
文学部 総合人文学科	総合人文基礎講義 （20世紀から現代社会を考える）	20世紀という時代は、私たちが立っている地面の表層を形成し、現在に直接つながっている諸事象です。本講義では20世紀を理解するための3つのテーマに沿って、知っておくべき知識を確認し、それら諸事象に対して人間がどのように格闘してきたかを論じます。	春	水曜日・5限
文学部 総合人文学科	総合人文基礎講義 （文化接触・文化衝突）	文化接触・文化衝突をキーワードとして、さまざまな事象を、さまざまな角度から検討し、総合人文学の方法を考えます。とくに言語・文学・社会のそれぞれを日本と中国、日本と西欧との関係の中で、どのような接触・衝突があつて、どのような変化の要因となつたかを、いくつかのケーススタディーとして提示することによって、総合人文学という枠組のなかで、どのように位置づけられるかを考えます。	秋	水曜日・5限
文学部 総合人文学科	総合人文基礎講義 （ジェンダーで学ぶ総合人文学）	文学部における多様な学びをジェンダーとセクシュアリティの視点からより豊かに、より深く理解し考察するための基本的な概念や枠組み、分析方法や研究対象について学ぶことを目指します。	秋	水曜日・5限
外国語学部 外国語学科	地域文化入門	スタディー・アプロード対象地域の地域文化を含む、世界の様々な地域のことばや文化について理解を深めます。英語圏／中国語圏だけではなく、東アジア、ユーラシア、ヨーロッパの各地域文化について、多言語多文化共生時代を見据えた、幅広い知識を提供します。一部の講義は英語で行われます。	春	金曜日・5限
社会安全学部 安全マネジメント学科	リスク評価法	日常生活におけるさまざまなリスクを評価する考え方や手法を取り扱います。自然災害や事故、薬物など、分野によってリスクの考え方や捉え方は異なりますが、それぞれの考え方を比較しつつ、包括的に学びます。	春	金曜日・5限
社会安全学部 安全マネジメント学科	地盤災害論	土木工学分野を構成する重要な分野の1つである「地盤力学（土質力学）」の基礎知識について解説し、地盤災害の発生メカニズムからその対策までを考えます。	秋	月曜日・5限
システム理工学部 電気電子情報工学科	基礎プログラミング ※受講定員：10名 ※受講条件： ・インターネットに接続したWindowsパソコンが自宅にあり、自宅学習が可能なこと ・WindowsやWordなどの基本的なパソコン操作ができること ・毎回演習を行うため、積極的に演習に取り組む姿勢があること ・欠席すると講義内容についていけなくなる可能性があるため、原則として全回出席できること	コンピュータをプログラムするための基礎的な概念を学習し、実際のプログラム作成を通してプログラミング技術の習得を行います。携帯用機器からスーパーコンピュータまでカバーし、現在実用的に用いられているさまざまなプログラミング言語の元祖でもあるC言語を学習します。	秋	金曜日・5限
化学生命工学部 生命・生物工学科	食品衛生学 ※受講条件：生物基礎を履修している（履修中・履修済）2年生以上の生徒	食品衛生に関わる基本的な事項を解説して基礎的な知識を紹介します。これまでヒトが経験的に使っていた食品衛生に関わる「技術」や過去の「食」にまつわる事故についても解説します。食料の一次生産から流通・加工・調理、さらにヒトが摂取するまでの各過程を科学的に分析し、現状の問題点や将来の食品の安全確保への方法と対策を考える情報を提供します。	秋	月曜日・5限